

『東亜』2020年9月号目次 「特集：香港が“香港”でなくなる日」

■特集 香港が“香港”でなくなる日

- * 「一国二制度」の変質と「国家安全維持法」 中園和仁
- * 香港国家安全維持法が与える対外的インパクト—英米台の対応— 三宅康之
- * 今後の香港国際金融センター
- 当面は現在の地位を維持、中長期的には厳しい立場に 野木森稔

■ASIA STREAM (2020年7-8月)

- * 中国の動向 トランプ米政権の対中強硬策に戸惑う中国 濱本良一
- * 台湾の動向 台湾の民主化を支えた李登輝総統の軍事改革 門間理良
- * 朝鮮半島の動向 「独裁」批判と「安米経中」維持で揺れる文在寅政権 小針進

■COMPASS

- * 米国の対中情報通信技術競争の展開
- 5Gから半導体、そしてその先へ 森聡
- * 米中対立の深刻化と孤立主義が朝鮮半島情勢に与える影響 三村光弘
- * コロナ禍における中国地方特定債の膨張 徐一睿
- * 新型コロナウイルスの起源をめぐる中国の国内事情 松本はる香

■マカオは今 [59]

- * 改めてマカオ「維護国家安全法」を読む 塩出浩和

■Book Review on Asia

- * 『国家とスポーツ—岡部平太と満洲の夢—』(高嶋 航著) 嵯峨隆

■Briefing Room

- * トランプ大統領再選に黄信号か—前代未聞の大統領選挙 辰巳由紀

■CHINA SCOPE

- * 京劇における役柄 石山雄太

■チャイナ・ラビリンス

- * SARS の経験も踏まえた中国のコロナ対応 高橋博

■企画連載 香港における中国的価値観の受容と抵抗 (最終回)

- * 新型コロナに向き合う香港 —政府と市民の対応— 澤田ゆかり

■巻頭言

- * 国家安全維持法がもたらす世界の民主主義の後退 阿古智子

■New Publications on Asia